

ひきこもり支援上の課題と方向性の整理

区分	意見のまとめ
第1回 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・相談してもらうための働きかけ(情報発信、相談窓口の周知、アウトリーチ支援) ・連携・協働体制の構築(他機関と協働した支援、ネットワークづくり) ・当事者の状況に合わせた継続的な支援(居場所の提供、就労後も含めた継続的な就労支援、「伴走型支援」の推進) ・地域との連携(地域共生社会の基盤づくり)
第2回 (R3年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・相談先の効果的な情報発信 ・相談しやすいひきこもりの理解促進 ・事例検討会等を通じた多機関協働の推進 ・その他、「治療中断・未受診」「8050問題」「就業・起業支援」を中長期的な重点課題として位置づけ、今後検討
第3回 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・若年期から適切に働きかけることで、ひきこもり状態に陥る前に未然防止。 ・支援機関に繋いだ後のフォローを丁寧に行うとともに、直接出向いた働きかけも継続。 ・新しい時代の就労形態を踏まえた先進的な地域の取り組みや支援方法を取り入れる。 ・ひきこもりの理解のための普及啓発や、必要な方に支援が十分行き届くよう、関係機関全てが協力し広報活動を強化(お互いに声を掛け合えるような地域づくり)。 ・事例検討会は非常に有用であるため積極的に企画。